

---

---

# 第1章 調査概要

---

---

# 第1章 調査概要

## 1. 調査目的

これまで女性に対する施策は多数行われているが、更なる女性活躍を目指すためには、男性の変革が必要である。例えば、女性が様々なライフステージで仕事を継続できる環境は整ってきたが、男性の長時間労働の慣行は十分に改善されておらず、このことが、男性の家事参画が進まない要因、女性に家事負担が集中する要因となっている。家族の姿が変化し、共働き世帯が増加している中、従来通りの家事・育児に加え、仕事での活躍も求められ、女性の負担は増加している。このことは、コロナ下で改めて顕在化した。

一方、コロナ下での生活も3年となり、働き方、ライフスタイルが変わってきている。特に若い世代と中高年との間では、両者に対する考え方も大きく異なっている可能性があり、今後の男女共同参画を推進する上では、確認しておく必要がある。

さらに、コロナ下では、中高年男性の孤独・孤立が注目されることになったが、これは、現役時代に仕事以外の繋がりを持てなかったこと、性別役割分業の副産物であることが指摘されている。

本調査は、前述の問題意識を念頭に、コロナを経験した上でのライフスタイルにおける意識の変化、ライフスタイル、働き方に対する理想と実態について、男女別、年代別、配偶関係別等で確認し、今後の男女共同参画推進に向けた材料とする。

## 2. 調査検討委員会

本調査の実施に当たっては、有識者からなる検討委員会を設置し、開催した。

### ① 構成

氏名	所属
<主査> 稲葉 昭英	慶應義塾大学 文学部 教授
永瀬 伸子	お茶の水女子大学 基幹研究院 教授
永井 暁子	日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授

### ② 開催実績

回	日時	主な課題
第1回	令和4年12月5日(月)	・調査計画について ・調査票について
第2回	令和5年1月31日(火)	・調査結果(集計速報値)について ・分析方針について ・中間報告書の作成について ・最終報告書の構成について
第3回	令和5年3月3日(金)	・最終報告書の完成に向けて

### 3.モニター調査 調査事項

調査項目、設問項目一覧は以下のとおりである。

#### ① 設問項目一覧

##### 【スクリーニング調査】

設問番号	項目	設問文
—	性別	※性別は登録時情報を利用する為、本アンケートでは確認していない
F1	年齢	あなたの年齢をお知らせください。
F2	居住地域	お住まいの地域を教えてください。
Q1	配偶状況	現在、結婚相手や配偶者、恋人がいますか。
Q2	離婚・死別経験	過去に離婚・死別の経験はありますか。
Q3	同居している人と人数	現在、同居している方がいますか。同居している人数についてもお答えください。
Q4	子供の有無・同居している子供の年齢	子供の有無と、現在同居している子供の年齢についてお聞きします。当てはまるものを全てお選びください。
Q5	最終学歴	最後に行かれた(または現在行かれている)学校は次のどれにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。
Q6	自身の雇用形態	あなたの職業・雇用形態について、当てはまるものを選択してください。
Q7	自身の勤務形態(勤務時間)	現在の勤務形態について、最も当てはまるものを選択してください。
Q8	自身の職種	あなたご自身の仕事の種類について、実際にしている主な仕事の内容をお選びください。
Q9	勤務先の業種	あなたの勤務先の業種について教えてください。
Q10	勤務先の従業員数	あなたご自身の仕事について、勤め先の従業員数を教えてください。
Q11	最終学歴後、初めて仕事に就いた時期	先ほどお答えいただいた、最終学歴(※回答内容提示)を卒業された後、最初に仕事に就いた時期を教えてください。
Q12	最終学歴後に就いた仕事の雇用形態	最終学歴後に初めて就いた仕事の職業・雇用形態について、当てはまるものを選択してください。
Q13①	個人年収	今年度(2022年度)の①個人年収(あなたご自身)と、②世帯全体の年収について、教えてください。
Q13②	世帯年収	
Q14	配偶者・恋人の雇用形態	現在の配偶者、または恋人の職業・雇用形態を教えてください。
Q15	配偶者・恋人の勤務形態(勤務時間)	現在の配偶者、または恋人の勤務形態について、最も当てはまるものを選択してください。
Q16	配偶者・恋人の個人年収	今年度(2022年度)の配偶者、または恋人の個人年収について教えてください。

【本調査】

設問番号	項目	設問文
Q17	現在の雇用形態で働いている理由	あなたが現在の「職業・雇用形態」で働いている理由について、下記から当てはまるものをお選びください。
Q18	どのような条件があれば「正規の会社員」として働きたいと思うか	どのような条件があれば「正規の会社員・職員・従業員」として働きたいと思いますか。
Q19①	自身の「仕事とプライベート・家庭生活のバランス」(理想)	あなたご自身の「仕事とプライベート・家庭生活のバランス」に対する「①理想」と「②実際の状況」について、最も近いものをお選びください。
Q19②	自身の「仕事とプライベート・家庭生活のバランス」(現実)	
Q20①	配偶者・恋人の「仕事とプライベート・家庭生活のバランス」(理想)	配偶者・恋人の「仕事とプライベート・家庭生活のバランス」に対する「①理想」と「②実際の状況」について、あなたご自身の考えとして、最も近いものをお選びください。
Q20②	配偶者・恋人の「仕事とプライベート・家庭生活のバランス」(現実)	
Q21	仕事・働くことに対する現在の考え方	あなたの仕事・働くことに対する現在の考え方について、最も近いものをそれぞれお選びください。
Q22	仕事において必要と考えるもの	あなたの仕事において必要と考えるものを、下記の中からお選びください。
Q23	「仕事での昇進」 20代時点での考え方	仕事での昇進について、20代時点のあなたの見通し・考えとして最も近いものをお選びください。
Q24	昇進することへのイメージ	あなたは、昇進することについてどのようなイメージをお持ちですか。それぞれについて最も近いものをお選びください。
Q25	今後、子供を持ちたいと思うか	あなたは今後、子供を持ちたいと思いますか。現在の考えに最も近いものを下記よりお選びください。
Q26	育児休業の取得経験	育児休業の取得経験について、下記よりお選びください。
Q27	育児休業取得(子供が0～3歳の頃)の希望	第一子が生まれた後、子供が0～3歳の頃の「育児休業取得」について、自分の希望(子供がいる人は当時の希望)をお答えください。
Q28	男性の育児休業取得率が女性に比べて低い理由	現在、男性の育児休業取得率が女性に比べて低い状況ですが、なぜ男性は育児休業を取得しないことが多いと思いますか？あなたの考えを教えてください。
Q29	育児休業取得への考え方	「育児休業」を取得することや、取得した後について、最も近いものをお選びください。
Q30①	自身のテレワークの実施頻度(最も多かった時期)	あなたご自身のテレワーク(在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイル勤務含む)実施頻度についてお聞きます。この3年の間で、①最も多かった時期と、②この3カ月の実施頻度について教えてください。
Q30②	自身のテレワークの実施頻度(この3カ月)	
Q31①	配偶者・恋人のテレワークの実施頻度(最も多かった時期)	あなたの配偶者・恋人のテレワーク(在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイル勤務含む)実施頻度についてお聞きます。この3年の間で、①最も多かった時期と、②この3カ月の実施頻度について教えてください。
Q31②	配偶者・恋人のテレワークの実施頻度(この3カ月)	

【本調査】

設問番号	項目	設問文
Q32①	仕事がある日の1日の時間配分(テレワーク以外)	仕事がある日の1日の時間配分について、現在の状況を分単位で教えてください。
Q32②	仕事がある日の1日の時間配分(テレワーク)	
Q33	仕事がない日／普段の1日の時間配分	働いている人は仕事がない日(勤め先がお休みの日)、働いていない人は普段の1日の時間配分について、現在の状況を分単位で教えてください。
Q34	生活の中の時間 増減希望	以下の生活の中の時間について、増やしたいか減らしたいか、当てはまるものをそれぞれお選びください。
Q35	配偶者・恋人の生活の中の時間 増減希望	以下の配偶者・恋人の生活の中の時間について、増やしてほしいか減らしてほしいか、当てはまるものをそれぞれお選びください。
Q36	勤務時間を減らしにくい理由	あなたご自身の勤務時間を減らしにくい理由として、あなたに当てはまるものをお選びください。
Q37	自身の仕事がある日の帰宅時間	仕事がある日の平均的な帰宅時間について、当てはまるものをお選びください。
Q38	配偶者・恋人の仕事がある日の帰宅時間	仕事がある日の配偶者・恋人の平均的な帰宅時間について、当てはまるものをお選びください。
Q39	現在の勤務時間による影響	あなたの仕事について、【Q7の回答を表示】とお答えいただきましたが、現在の勤務時間による影響として、どちらの方に近いか当てはまるものをお選びください。
Q40	家事・育児等への考え方	家事・育児等へのあなたのお考えについて、近いものをそれぞれお答えください。
Q41	家事・育児等に関する外部サービスの利用経験・意向	下記の家事・育児等に関する外部サービスについて、利用経験(経験がない場合は興味)を教えてください。
Q42	自身の家事のスキル(能力)についての評価	あなたご自身の家事のスキル(能力)について、ご自身でどのように評価されていますか。
Q43	配偶者・恋人の実施する家事への満足度	あなたの配偶者・恋人が実施する家事について、どのぐらい満足できていますか。
Q44	配偶者・恋人の実施する家事についてどう感じるか	あなたの配偶者・恋人が実施する家事についてどう感じるか、当てはまるものを選んでください。
Q45	自身の育児のスキル(能力)についての評価	あなたご自身の育児スキル(能力)について、ご自身でどのように評価されていますか。
Q46	配偶者・恋人の実施する育児への満足度	あなたの配偶者・恋人が実施する育児について、どのぐらい満足できていますか(出来ていましたか)。
Q47	配偶者・恋人の実施する育児についてどう感じるか	あなたの配偶者・恋人が実施する育児についてどう感じるか(感じていたか)、当てはまるものを選んでください。
Q48	ストレスや責任などについての考え方	以下について、あなたご自身や周囲のことを考えた時にどう思われるかをお答えください。
Q49	自身の父親・母親等との関係について	以下について、あなたご自身のことを振り返った時にどうであったかをお答えください。
Q50	休みの日に過ごすことが多い人	あなたは、お休みの日に誰と時間を過ごすことが多いですか。当てはまるものを全てお答えください。

#### 4. 調査方法・調査対象

調査方法	インターネット・モニターに対するアンケート調査 (株式会社マーケティング・アプリケーションズの登録モニターが対象)
調査名	あなた自身に関する調査
調査対象	国内在住のインターネット・モニター(20歳以上70歳未満)

#### 5. 調査期間

インターネット・モニター に対するアンケート調査	令和4年12月23日(金)～令和5年1月6日(金)
-----------------------------	---------------------------

## 6. サンプル

① 回収数：20,000人

② サンプルの割付

令和2年国勢調査における「配偶者の有無×男女年代」とエリア(2区分)に基づき、以下のとおり回収。

③ 回収サンプルの割付

回収したサンプルの構成は以下のとおりである。

【人数割合】

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	3.5	0.6	0.02	3.0	0.6	0.02
	30代	2.1	2.7	0.1	1.6	2.4	0.1
	40代	1.9	4.3	0.3	1.5	3.7	0.3
	50代	1.4	4.1	0.4	1.0	3.5	0.4
	60代	0.8	4.0	0.5	0.6	3.7	0.5
女性	20代	3.2	0.8	0.05	2.7	0.8	0.1
	30代	1.4	3.2	0.2	1.2	2.8	0.2
	40代	1.2	4.6	0.6	1.0	4.0	0.6
	50代	0.8	4.3	0.8	0.7	3.8	0.7
	60代	0.4	4.1	1.0	0.3	3.9	1.0
合計		100%					

【回収割付】

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	706	118	4	595	118	4
	30代	410	545	22	323	487	22
	40代	376	855	58	294	749	57
	50代	272	820	85	203	699	80
	60代	156	804	98	123	740	96
女性	20代	636	167	9	549	160	11
	30代	287	632	45	239	561	47
	40代	236	920	111	204	808	113
	50代	158	856	150	136	754	150
	60代	77	824	200	68	770	201
合計		2万人					



本調査 回収数

		①東日本			②西日本		
		未婚	既婚		未婚	既婚	
			有配偶	離死別		有配偶	離死別
男性	20代	706	118	4	595	118	4
	30代	410	545	22	323	487	22
	40代	376	855	58	294	749	57
	50代	272	820	85	203	699	80
	60代	156	804	98	123	740	96
女性	20代	636	167	9	549	160	11
	30代	287	632	45	239	561	47
	40代	236	921	111	204	808	113
	50代	158	857	150	136	754	150
	60代	77	824	200	68	770	201
合計		2万人					

※配偶関係「不詳」と回答している人を除いて総数を算出

※東日本・西日本の定義:東日本とは新潟県、長野県及び静岡県以東の都道府県、

西日本とは富山県、岐阜県及び愛知県以西の府県としている



## 7. 報告書内で使用する用語、定義

本調査で使用する用語		本調査で用いた定義	
世帯類型	夫婦のみ世帯	世帯主とその配偶者のみで構成する世帯。本調査では、回答者とその配偶者。	
	夫婦と子供から成る世帯	夫婦と未婚の子のみで構成する世帯。	
	単独世帯	世帯員が一人だけ(回答者のみ)の世帯。本調査では回答者本人のみの世帯。	
	母子・父子世帯	ひとり親と19歳以下の子供を含む世帯。本調査の定義においては、20歳以上の子供がいても、他に19歳以下の子供がいれば母子・父子世帯とみなす。他に祖父母などと同居していても該当。対象者は未婚もしくは離死別(有配偶は除外)。	
	親と同居世帯	自分と親の組合せで同居しており、かつ、配偶者・子供・孫と同居していない世帯。	
	親とのみ同居世帯	自分と親の組み合わせで同居しており、かつ、親以外の世帯員がいない世帯。	
配偶者の有無 ※回収設定時の分類	未婚	まだ結婚したことがない人をいう。未婚には乳幼児なども含む。	
	既婚	有配偶	現在結婚している人をいう(事実婚も含む)。
		離別・死別	「死別」とは配偶者と死別し、再婚していない人をいう。「離別」とは離婚し、再婚していない人をいう。
配偶者の有無 ※分析で使用する分類	独身	現在、配偶者がいない人をいう(「死別」「離別」経験の上、現在配偶者がいない人も含む)。	
	有配偶	現在結婚している人をいう(事実婚も含む)。	
有配偶の定義	法律婚	婚姻の届出をしている。	
	事実婚・内縁	婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にあることを指す。本人同士に結婚する意思があり、共同生活を営んでいるのであれば事実婚として成立。	
雇用形態	正規雇用労働者	就業状況を尋ねる設問のうち、「正規の会社員・職員・従業員」「会社などの役員」を選択した人。	
	非正規雇用労働者	同設問において、「パート・アルバイト」「労働派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他の形で雇用されている」を選択した人。	
	自営業・自由業・その他	同設問において、「自営業・自由業(従業員がいる)」「自営業・自由業(従業員がいない)」「自家営業の手伝い(家族従業者)」「家庭内の賃仕事(内職)」「その他」を選択した人。	
	働いていない	同設問において、「主婦・主夫」「学生」「その他(働いていない)」を選択した人。	
就職氷河期	就職氷河期コア世代	1975年～1984年生まれ＝2022年調査時点38歳～47歳で定義。	
	就職氷河期コア世代より若い世代	1985年生まれ以降＝2022年調査時点20歳～37歳で定義。	
	就職氷河期コア世代より上の世代	1974年生まれ以前＝2022年調査時点48歳～69歳で定義。	

なお、結果数値(%)は、少数第二位を四捨五入(報告書内では少数第一位まで表章)しているため、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合がある。